

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら横浜中田教室		
○保護者評価実施期間	R7年 9月 1日 ～ R7年 10月 15日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 31
○従業者評価実施期間	R7年 9月 1日 ～ R7年 9月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 10月 31日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者がプログラムを楽しみにしている。 職員の強みを生かしたプログラムにすることができている。 コミュニケーションスキルの向上を目的としたプログラムが多彩である。	同じ内容のプログラムでも利用者の年齢に合わせたやりかた、説明の仕方、お子さんの興味関心を踏まえ変更したりしている。	職員（非常勤含む）もプログラム案に参加してもらえるように、参加の仕方を工夫していく。
2	長くご利用いただけている	学校の早い日にも時間を合わせお迎えに行っている。 良き相談相手になっていると思います。	さらなる専門知識が必要です。
3	お子さんに寄り添った支援	自信のないお子さんが多いのでほめる支援を心掛けている。	自立支援のため、できることは自分でやってみようという心を引き出していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流が少ない	多忙な保護者が多い	事業所内で保護者向け研修があっても来てくださる方は毎回同じ方なので、違う方にも来ていただけるように工夫が必要
2	職員全員の共通認識	常勤・非常勤の間でコミュニケーションがとれているようで上手に取れていないことが、自己評価でわかりました。	職員全員に共通の認識と確認と共有ができるように工夫をしていく。
3	情報共有の時間がとりにくい	連絡ノートに記入を促しても、されていない。 促していることをしていないのに、聞いていない等の意見が多い	連絡ノートの見直し、声掛けの見直しをしていく。全部見直ししていく。